

## ラテンアメリカ諸国およびイベリア2か国（スペイン・ポルトガル）の 日本との姉妹都市提携関係

桜井 悌司（ラテンアメリカ協会理事）

自治体国際化協会の最新のホームページ（2018年1月時点）によると、日本の都道府県市町村の海外諸国との姉妹都市提携の締結総数は、1702件となっている。国別ランキングをみると、米国451件、中国362件、韓国162件、オーストラリア140件、カナダ71件、ブラジル57件で、ブラジルは第6位の位置を占めている。以下、ドイツ53件、フランス51件、ロシア45件、ニュージーランド41件と続く。

さらに、ラテンアメリカでみると、全体で80件あり、その内訳は、最多のブラジルに続いて、以下、メキシコの11件、ペルーの4件、コスタリカとパラグアイの各2件、パナマ、ボリビア、チリ、ジャマイカが各1件である。イベリア半島のスペインは11件、ポルトガルは7件となっている。本稿では、下記の表を参考にして、日本との姉妹都市に関わるいくつかの特徴を取り上げてみよう。

ラテンアメリカの主要国で、日本との姉妹都市関係を持たない人口1000万人以上の国は、アルゼンチン、コロンビア、ベネズエラ、グアテマラ、エクアドル、キューバ、ハイチ、ドミニカ共和国の8か国である。アルゼンチンとコロンビアは、人口4000万人を超える南米の大国であり、今後、姉妹都市の誕生を望みたい。

表1 ラテンアメリカ諸国およびスペイン・ポルトガルとの日本の姉妹締結数

国・地域名	都道府県	市区	町村	合計
メキシコ	3	5	3	11
コスタリカ	0	2	0	2
ジャマイカ	1	0	0	1
パナマ	0	1	0	1
ボリビア	1	0	0	1
ペルー	0	1	3	4
パラグアイ	0	2	0	2
ブラジル	11	35	11	57
チリ	0	1	0	1
ラテンアメリカ合計①	16	47	17	80
スペイン	3	8	0	11
ポルトガル	0	7	0	7
イベリア計②	3	15	0	18

① +②合計	19	62	17	98
--------	----	----	----	----

以下表の出所は、一般社団法人自治体国際化協会

## I ラテンアメリカ

### 1. メキシコとの姉妹都市の特徴

日本とメキシコとの姉妹都市数は、合計11件である。最も多いのは、歴史的なきっかけである。例えば、仙台市とアカプルコ市は、慶長遣欧使節の支倉常長のアカプルコ港上陸の縁である。駐日メキシコ大使の仙台訪問時に仙台市から姉妹都市締結の意向が示された。ちなみに、アカプルコには支倉常長の銅像が建立されている。キューバのハバナとハポン姓（JAPON）で有名なスペインのセビリャ近郊のコーリア・デル・リオにも銅像がある。

千葉県の御宿とアカプルコは、1609年にドン・ロドリゴ・デ・ビベロ率いるスペイン艦隊が御宿沖合で座礁し、村民が316人の乗組員を救助したことがきっかけである。また千葉県大多喜町とクエルナバカもドン・ロドリゴ関連で、座礁を報告したのが時の大多喜城主であった。その後2013年には、御宿がドン・ロドリゴの生まれた町であるテカマチャルコと姉妹都市提携を結んだ。埼玉県とメキシコ州、さいたま市と州都トルーカとの姉妹都市は、お互いに首都に隣接した縁で結ばれた。愛知県とメキシコ市は、名古屋日墨協会ミッションがロサンゼルスを訪れた際に、ロスがメキシコ市と姉妹都市なので、愛知県も結んではどうかということで締結された。京都とグアダハラは、メキシコ姉妹都市国際委員会事務局長から日本の国際親善都市連盟事務局長にグアダハラと京都の姉妹都市提携を要望するレターが出され、その後相互にミッションを交流させることにより、結ばれた。大阪の箕面市とクエルナバカはユニークで、モレロス州の大学との交流が盛んとなり姉妹都市に結びついた草の根のケースである。最も新しい姉妹都市は、広島とグアナフアトであるが、マツダの企業進出が取り持つ縁と思われる。

表1 メキシコと姉妹都市関係を締結している都道府県市町村

県名	自治体名称	提携自治体名	州・県・市等	締結年月
宮城県	仙台市	アカプルコ	ゲレロ州	1973年10月
埼玉県	埼玉県	メキシコ州		1979年10月
埼玉県	さいたま市	トルーカ	メキシコ州	1979年10月
千葉県	大多喜町	クエルナバカ	モレロス州	1978年8月
千葉県	御宿町	アカプルコ	ゲレロ州	1978年8月
千葉県	御宿町	テカマチャルコ		2013年10月
愛知県	名古屋市	メキシコシティ		1978年2月
京都府	京都市	グアダハラ	ハリスコ州	1980年10月

大阪府	箕面市	クエルナバカ	モレロス州	2003年10月
和歌山県	和歌山県	シナロア州		1996年5月
広島県	広島市	グアナフアト州		2014年11月

## 2. ペルーと姉妹都市締結の特徴

ペルーと日本の姉妹都市数は4件であるが、すべて2011年以降に締結されており、いずれも最近のケースである。ブラジルとの姉妹都市案件が2000年以降ゼロであることを考えると興味深い。姉妹都市のきっかけをみると、剣淵町は、開業した「ビバアルパカ牧場」でアルパカのつがいを受け入れたことをきっかけにアルパカの大飼育地であるパルマヨカ区と締結した。その後、剣淵町の公式使節団がタルマ市を訪問し、姉妹都市となった。ウルバンバ郡は、世界遺産「マチュピチュ」を有する場所であるが、山間地の高山市と似ていることから、ペルー共和国側から、友好都市提携の提案があり締結に至った。大玉村については、世界遺産マチュピチュ村の開発に尽力した初代・行政最高責任者が大玉村出身の日本人移民の野内与吉だったことが縁で、マチュピチュ村側からの強い要望で実現した。

表2 ペルーと姉妹都市関係を締結している都道府県市町村

県名	自治体名称	提携自治体名	州・県・市等	締結年月
北海道	剣淵町	タルマ市	フニン県	2015年9月
北海道	剣淵町	パルカマヨ区	フニン県	2011年7月
福島県	大玉村	マチュピチュ村	クスコ県	2015年10月
岐阜県	高山市	ウルバンバ郡	クスコ県	2013年8月

## 3. その他のスペイン語圏諸国の姉妹都市締結の特徴

### 1) チリの姉妹都市

チリのラ・セレーナは首都サンティアゴの北方470キロメートルに位置するスペイン風街並みの美しい町である。ノーベル文学賞のガブリエラ・ミストラルの生誕地である。姉妹都市の由来は、1964年に在チリ日本国大使がラ・セレーナ市長を式訪問した際に、市長から日本の宗教文化都市と姉妹都市提携を締結したいという申し出があったことで、天理市との間で成立した。

### 2) コスタリカの姉妹都市

#### ① 岡山市ーサンホセ

1969年10月、当時の岡山市長がサンホセ市を表敬訪問、その後当時の在京コ

スタリカ大使が岡山市を答礼訪問し、同市で開催された博覧会を視察したことに始まる。1994年には、オスカル・アリアス大統領（ノーベル平和賞受賞者）も岡山市を訪問した。

② 気仙沼市—プンタアレーナス

1977年、新漁港建設のため、プンタアレーナス市の技術者が気仙沼市を視察に訪れたことが契機となり、プンタアレーナス市長から姉妹都市の提携について要請があった。気仙沼市の遠洋漁船が補給基地としてプンタアレーナスに寄港することが多かったことなどから、この申し出を受け入れ、市長、議長が同市を訪問して姉妹都市の締結を行った。

3) パナマの姉妹都市

1976年、パナマ共和国駐日大使が造船・海運業視察のため来日し、今治市長を表敬訪問した際に、パナマ市と今治市との姉妹都市提携について話し合いが行われた。その後、市は商工会議所（造船部会）より姉妹都市提携推進依頼を受け、1977年、パナマ共和国パナマ州知事がパナマ市長に代わって来日、姉妹都市提携の調印を行った。

4) ボリビアの姉妹都市

1989年春頃、沖縄県内のボリビア関係者からの姉妹提携申し入れがきっかけである。その後ボリビア県人会がサンタクルス州政府に働きかけ、沖縄県知事とサンタクルス州知事の相互訪問によって、1992年、提携に至った。サンタクルス市には日系移住者が多いことが最大の要因である。

5) パラグアイの姉妹都市

① 千葉市—アスンシオン

当初、パラグアイ駐在の名誉領事から申し出があり、その後パラグアイ大統領の就任式に千葉県選出の代議士が日本の特派大使として参加したことから、提携に結びついた。

② 大分県竹田市—サンロレンソ サンロレンソはアスンシオンの衛星都市。

表3 その他のラテンアメリカ諸国（ポルトガル語圏のブラジルは後段）と姉妹都市を締結している都道府県市

国名・県名	自治体名称	提携自治体名	州・県・市等	締結年月
-------	-------	--------	--------	------

チリ				
奈良県	天理市	ラ・セレーナ	コキンボ州	1966年10月
コスタリカ				
宮城県	気仙沼市	プンタアレナス		1978年5月
岡山県	岡山市	サンホセ		1969年1月
パナマ				
愛媛県	今治市	パナマ		1977年3月
パラグアイ				
千葉県	千葉市	アスンシオン		1970年1月
大分県	竹田市	サンロレンソ		1973年10月
ボリビア				
沖縄県	沖縄県	サンタ・クルス州		1992年11月
ジャマイカ				
鳥取県	鳥取県	ウエストモアランド県		不明

#### 4. ブラジルにおける姉妹都市締結状況

##### 1) サンパウロ州に集中する姉妹都市関係

ブラジルの57件のうち、40件がサンパウロ州に集中している。以下、パラナ州7件、リオ・グランデ・ド・スル州3件、サンタ・カタリーナ州2件、パラ州2件、ミナス・ジェライス州、リオ・デ・ジャネイロ州、マツグロツ・ド・スル州各1件となっている。日本人の移住に関連した姉妹都市関係締結がほとんどと理解できるが、それにしても、圧倒的に南東部の州に偏っている。ブラジルの州と日本の都道府県との連携をみると、サンパウロ州が徳島県、三重県、群馬県、富山県の4県と、リオ・グランデ・ド・スル州が石川県と滋賀県の2県と締結している。その他としては、パラナ州が兵庫県、ミナス・ジェライス州が山梨県と、サンタ・カタリーナ州が青森県、パラ州が千葉県、マツグロツ・ド・スル州が沖縄県とそれぞれ姉妹州・県を結んでいる。

##### 2) 他のラテンアメリカ諸国と比較して締結された年が古い

締結された件数を、年代別に見ると、1960年代が8件、70年代が24件、80年代が21件、90年代が4件となっている。一番歴史のある提携は、1963年の石川県珠洲市とサンパウロ州ペロータ市、次いで66年の高知県の町とコチア、67年の石川県金沢市とポルト・アレグレ市があり、68年の長野県軽井沢とカンポス・ド・ジョルダン、他1件、69年には大阪市とサンパウロ市、岐阜県関市とモジ・ダス・クルーゼスが締結されている。2017年には、金沢市とポルト・アレグレ市の提携50周年を記念して、金沢市からミッションが派遣され、ことじ灯籠の寄贈を行った。2018年と2019年にかけては上記の3締結都市の50周年記念を迎えることになる。残念なのは、20

00年に入ってからは、1件も締結されていないことである。1980年代のブラジル経済の低迷と90年代の日本経済のバブル崩壊という、いわゆる「日伯関係の失われた20年」が間接的に影響しているのかもしれない。ちなみに、メキシコは全11件のうち3件が、2003年、13年、14年に、ペルーは4件すべてが2011年以降に結ばれている。

### 3) ブラジルとの提携に熱心な日本の都道府県は？

次に日本の都道府県の中でブラジルとの姉妹都市協定の多いところをみてみよう。

5件と一番多いのは兵庫県で、以下3件が群馬県、富山県、石川県、岐阜県、三重県、高知県、山口県の7県である。2件は青森県、宮城県、千葉県、長野県、滋賀県、大阪府、熊本県、長崎県、沖縄県の9県となる。日本の47都道府県のうちの28がブラジルと姉妹都市関係を締結しており、全体のほぼ60%に当たる。

### 4) 姉妹都市交流のきっかけは？

国土交通省のアンケートによると、「姉妹都市提携のきっかけ」として、最も多いのは、「共通項の発見」（都市の性質、産業、文化、立地、自然環境・地理的環境、歴史的経験、都市交流等）で、次いで「紹介（第三者からのアドバイス等）」、「来訪（知事や市長）」、「市民交流（草の根交流）」となっている。ブラジルの場合、下記表からも分かるが、日本人の移住に関わる緊密な関係から締結した例が圧倒的に多い。国土交通省の分類によると「都市交流」に当たるのではないかと思われる。産業、文化、立地、歴史経験の例は見当たらない。

### 5) 今後の日伯姉妹都市提携の進展を望めるか？

現在、日本と世界との姉妹都市協定件数は1702件である。そのうち、2000年から09年の10年間に締結された件数は288件で、全体の17%を占める。2010年から17年の8年間の件数は142件で、全体の8%強である。ということは、全体の25%が2000年に入ってからの締結である。前述のように、日伯の姉妹都市協定が2000年以降1件も無いのは大いに考えさせられることであろう。理由はいろいろ考えられよう。

まず第1に、姉妹都市の締結のきっかけ・理由が上述のように移住に関連し、限定的であること、第2に、ブラジルの治安の悪さである。一般市民にとっては、容易に交流もできないと考えるであろうし、ブラジルの政治情勢も深刻である。第3に、日本からの移住者が多いと言うものの、最も遠い国であり、姉妹都市交流にかかる費用もアジアなどと比べ相当割高になろう。第4に、ブラジルの自治体の財政事情が深刻で、まともな交流ができないことも指摘できる。悲観的な見解を述べたが、ブラジルは、鉱物資源や農業資源でポテンシャルに富んだ国であり、観光資源も豊富であるので、新しい切り口から相手

都市を探せば展望が開かれるのかも知れない。例えば、マンガ・アニメ、料理、世界遺産、音楽・歌・踊り、祭り、サッカー交流、大学交流等はきっかけのヒントになるかもしれない。

表4 ブラジルと姉妹都市を締結している都道府県市町村

県名	自治体名	提携自治体名	州名	締結年月
北海道	遠軽町	バストス	サンパウロ州	1972年10月
青森県	青森県	サンタ・カタリーナ州		1980年10月
青森県	鯨ヶ沢町	サン・セバスチオン	サンパウロ州	1984年10月
宮城県	名取町	グアララップス	サンパウロ州	1979年5月
宮城県	柴田町	アシス・シャトーブリアン	パラナ州	1981年4月
山形県	米沢市	タウバテ	サンパウロ州	1974年1月
群馬県	群馬県	サンパウロ州		1980年8月
群馬県	高崎市	サントアンドレ	サンパウロ州	1981年10月
群馬県	大泉町	グアラチングター	サンパウロ州	1992年10月
千葉県	千葉県	パラ州		1979年11月
千葉県	袖ヶ浦市	イタジャイ	サンタ・カタリーナ州	1979年1月
東京都	東京都	サンパウロ州		1990年6月
新潟県	見附市	マイリング	サンパウロ州	1973年9月
富山県	富山県	サンパウロ州		1985年7月
富山県	富山市	モジ・ダス・クルーゼス	サンパウロ州	1979年11月
富山県	高岡市	ミランドポリス	サンパウロ州	1974年10月
石川県	金沢市	ポルト・アレグレ	リオ・グランデ・ド・スル州	1967年3月
石川県	小松市	スザノ	サンパウロ州	1972年7月
石川県	珠洲市	ペロータス	リオ・グランデ・ド・スル州	1963年9月
山梨県	山梨県	ミナス・ジェライス州		1973年7月
長野県	軽井沢町	カンポス・ド・ジョルダン	サンパウロ州	1968年7月
長野県	飯島町	フェラス	サンパウロ州	1975年5月
岐阜県	岐阜市	カンピーナス	サンパウロ州	1982年2月
岐阜県	関市	モジ・ダス・クルーゼス	サンパウロ州	1969年5月
岐阜県	中津川市	レジストロ	サンパウロ州	1980年8月
三重県	三重県	サンパウロ州		1973年11月

三重県	津市	オザスコ	サンパウロ州	1976年10月
三重県	熊野市	バストス	サンパウロ州	1972年12月
滋賀県	滋賀県	リオ・グランデ・ド・スル州		1980年5月
滋賀県	日野市	エンブ	サンパウロ州	1984年5月
京都府	亀岡市	ジャンジーラ	サンパウロ州	1985年11月
大阪府	大阪市	サンパウロ市	サンパウロ州	1969年10月
大阪府	門真市	サン・ジョゼ・ドス・カンポ ス	サンパウロ州	1973年4月
兵庫県	兵庫県	パラナ州		1970年5月
兵庫県	神戸市	リオ・デ・ジャネイロ	リオ・デ・ジャネ イロ州	1969年5月
兵庫県	姫路市	クリチーバ	パラナ州	1984年5月
兵庫県	西宮市	ロンドリーナ	パラナ州	1977年5月
兵庫県	加古川市	マリंगा	パラナ州	1973年7月
兵庫県	淡路市	パラナグア	パラナ州	1986年5月
奈良県	天理市	バウルー	サンパウロ州	1970年4月
広島県	東広島市	マリリア	サンパウロ州	1980年11月
山口県	下関市	サントス	サンパウロ州	1971年10月
山口県	岩国市	ジュンディアイ	サンパウロ州	1990年4月
山口県	周南市	サンバルナルド・ド・カンポ	サンパウロ州	1974年4月
徳島県	徳島県	サンパウロ州		1984年11月

## II スペイン・ポルトガル編

### 1. スペインとの姉妹都市提携の特徴

スペインと日本の姉妹都市提携は、合計11件であるが、いくつかの特徴が指摘できる。

#### 1) 姉妹都市のきっかけ

一番多いのが、歴史的な出来事に関係するものである。山口県、山口市は、フランシスコ・ザビエル関連、大船渡市は、スペインの探検家のセバステイアン・ビスカイアの使節団が大船渡湾をサン・アンドレス湾と名付けたところに由来する。ミッションの相互訪問がきっかけとなったのは、奈良市、丸亀市、呉市があげられる。その他神戸市は互いに港湾都市、和歌山県は熊野古道とサンティアゴ・デ・コンポステラ巡礼道という世界遺産の関係である。三重県は、三重サンベルト・リゾート構想でスペインをモデルにし、お互いの都市の共通点を考慮し結ばれた。



## 2) 1990年代の締結が多い

スペインは1992年に、バルセロナオリンピック、セビリヤ万国博覧会、マドリードでのヨーロッパ文化都市の実施と3つの大きなイベントを開催し、最も輝いていた時期であった。その結果を反映してか、90年2件、92年2件、93年、94年、96年、98年各1件と全体の11件のうち8件が90年代となっている。2003年以降の案件はないが、スペインは魅力にあふれた国でもあるので、歴史、観光、食べ物・飲料などの観点からみて姉妹都市の候補都市はたくさんある。

表4 スペインと姉妹都市関係を締結している都道府県市町村

県名	自治体名称	提携自治体名	州・県・市等	締結年月
岩手県	大船渡市	パロス・デ・ラ・フロ ンテーラ	アンダルシア州ウエルバ県	1992年8月
愛知県	清須市	ヘレス・デ・ラ・フロ ンテーラ	アンダルシア州カディス県	1994年1月
三重県	三重県	バレンシア州		1992年11月
兵庫県	神戸市	バルセロナ	カタルーニャ州	1993年4月
兵庫県	豊岡市	アリカンテ	バレンシア州	1996年6月
奈良県	奈良市	トレド	カステイージャ・ラ・マンチャ州	1972年9月
和歌山県	和歌山県	ガリシア州		1998年10月
広島県	呉市	マルベージャ	アンダルシア州マラガ県	1990年12月
山口県	山口県	ナバラ州		2003年11月
山口県	山口市	パンプローナ	ナバラ州	1980年2月
香川県	丸亀市	サン・セバスティアン	バスク国自治州ギプスコア県	1990年11月

## 2. ポルトガルとの姉妹都市協定の特徴

ポルトガルと日本の姉妹都市提携は合計7件であるが、国際友好都市協定の逗子市とナザレーを加えると8件になる。姉妹都市のきっかけをみると、徳島市とレイリアはポルトガルのヴェンセスラオ・デ・モラエスの縁である。モラエスは軍人、外交官、文筆家で多くの日本紹介の著作がある。妻のよねの死亡後、よねの故郷の徳島に移り住む。大村市とシントラは天正少年使節団が1584年にシントラ宮殿を訪問したことに由来する。長崎市は、出島に向かったポルトガル船の母港という縁で、駐ポルトガル名誉総領事が仲介した。鹿児島県の西之表市は鉄砲伝来450周年を記念して、大航海時代を切り開いたサグレス号ゆかりのヴィラ・ド・ビスポ市と提携した。大分市は、大友宗麟の時代からポルトガルとは縁があるが、駐日ポルトガル大使から提案を受けた。海岸に面し、観光、商業都市として共通点があったことで締結に至った。熱海市は、国際的リゾート都市として共通点を持つカスカイス市と提携、熱海市は寄贈された100本のジャカラランダの遊歩道で有

名である。

ポルトガルは、今、日本人観光客に注目されており、歴史的に日本とのつながりも深いところから、もっと姉妹都市が増加しても不思議ではない。

**表5 ポルトガルと姉妹都市関係を締結している都道府縣市町村**

県名	自治体名称	提携自治体名	州・県・市等	締結年月
静岡県	熱海市	カスカイス	リスボン県	1990年1月
徳島県	徳島市	レイリア	ペイラ・リトラル州	1969年10月
長崎県	長崎市	ポルト		1978年5月
長崎県	大村市	シントラ		1997年8月
熊本県	人吉市	アブランテシュ		2009年9月
大分県	大分市	アベイロ		1978年10月
鹿児島県	西之表市	ヴィラ・ド・ビスポ		1993年10月